

[レスリング]

全日本選抜 北村（グレコ96kg級）、荒木田（フリー120kg級）が準優勝

北村は種目、階級変え挑戦

全日本選抜レスリング選手権が6月9、10日、代々木第二体育館で行われ、グレコ96kg級の北村克哉（商4・日本工大付属東京工高＝写真）と、フリー120kg級の荒木田進謙（経済2・光星学院高）が準優勝した。



昨年の大会でフリー120kg級を制した北村は、「佐藤満コーチから世界選手権の出場権を獲得するチャンスがあると勧められ、迷ったが試しにやってみようと思い、減量して挑みました」と、種目・階級を変更。1回戦から順調に勝ち上がったが、決勝で敗れた。

右ひざの負傷をおして出場した荒木田は負傷の影響を感じさせず、2回戦、準決勝をフォール勝ち。しかし、決勝では専大レスリング部OBの田中章仁さん（FEG所属＝平16経済）から1ポイントも奪えず敗れた。「田中先輩はやはり強かった。1ポイントでもいいから取りたかった」と悔しそうに話した。

また、グレコ84kg級の矢野将章（経済3・広陵高）、同96kg級の野口智行（経済4・向上高）が3位入賞を果たした。

東日本学生春季新人戦

グレコ55kg級で大谷が準優勝

6月13日から15日まで駒沢体育館で行われた東日本学生春季新人戦では、グレコ55kg級で大谷康太（文2・向上高）が準優勝した。大谷は「決勝は自分の技を出せなかったので、自分の持ち味を生かしたレスリングが出来るようになりたい」と語った。

（有馬 利香・商3＝写真も）

※文中のグレコはグレコローマンスタイル、フリーはフリースタイルの略。

[バドミントン] 関東学生<女子>

ダブルス梨木・井上組が優勝 シングルス井上が2年連続準優勝

関東学生バドミントン選手権が5月26日から6月25日まで、立川市泉体育館他で行われ、女子ダブルスで梨木春花(商4・金沢向陽高)・井上春奈(商2・埼玉栄高)組が優勝を果たした。

井上がシングルスで2年連続となる準優勝を果たしたほか、梨木、田村千秋(文1・昭和学園高)がシングルスで、富永絢子(商4・越谷南高)・田村組がダブルスでベスト8入りした。

昨秋のリーグ戦からペアを組み、3度目の公式戦で栄冠をつかんだ梨木・井上組。「日々の練習が自信につながった。カバーがうまく、プレーエリアが広い井上とのペアはやりやすい。最後のインカレでも結果を残したい」(梨木)、「結果を残せてうれしい。決勝戦は一番良いプレーが出来たと思う。シングルスでも優勝を狙いたい」(井上)と語った。

(田口 能成・経済3)

[馬術] 関東学生

吉澤が総合馬術で優勝 団体は3種目総合で準優勝

団体は3種目総合で準優勝

関東学生馬術競技大会が、6月21日から24日まで、JRA馬事公苑で行われた。障害飛越、馬場馬術、総合馬術の3種目で争うこの大会で、吉澤和紘主将(経営4・西宮香風高)が総合馬術で優勝、障害飛越で準優勝に輝いた。団体は3種目とも準優勝で、総合でも惜しくも準優勝に終わった。

どの種目も接戦が展開された今大会。初日の障害飛越は、吉澤主将を含む6人が失点なく走行し、ジャンプオフへと勝負がもつれ込んだ。吉澤主将は最も速いタイムで走行したが、障害をひとつ落としたため3秒が加算され、わずか0秒17差で2位。この借りを返さんとばかりに奮闘し、総合馬術競技では逆に接戦を制し、優勝をもぎ取った。



▲「総合馬術」を制した吉澤主将(撮影・荻野)

試合後、富沢健悟監督は「チームで団結して良い戦い方が出来、結果につながった。吉澤は馬のポテンシャルを十分に引き出す良い騎乗を見せてくれた。こういった接戦でも常に勝てるよう、秋に向け今から調整していかなくては」と話した。

(加藤 未希・文3)

[ゴルフ] 全国大学対抗戦

男子5位「TOPY CUP」へ

全国大学ゴルフ対抗戦が6月14、15日、北海道勇払郡オークウッドゴルフクラブで行われた。男子が5位となり、TOPY CUP日米大学対抗ゴルフ選手権(9月4～6日・棚倉田舎倶楽部)への出場が決定した。

2日目、桐谷龍平(商2・広島県瀬戸内高=写真)がトップタイの67(同コースはパー71)でラウンドするなど、3位の東北福祉大に2打差と健闘した。矢形和也主将(商4・栄徳高)は「TOPY CUP出場が決まったことはうれしい。今後も練習に励み、より良い結果を残したい」と語った。また、女子は9位と振るわなかった。

(田口 能成・経済3)

[ゴルフ] 日本アマ・第1ラウンド

桐谷が67のコースレコード

アマチュア日本一を決める日本アマチュアゴルフ選手権が7月3日から7日まで、愛知カントリークラブで開催された。ストロークプレー方式の予選第1ラウンドで桐谷が67のコースレコードをマーク。予選第2ラウンドも安定したゴルフで決勝トーナメント(マッチプレー方式)に進出し、ベスト16入りした。また、同じく決勝トーナメントに進んだ宮里政志(文2・鹿島学園高)は1回戦で敗退した。

日本女子アマチュア選手権では、木村麻希(経済2・明德義塾高)が決勝トーナメントに進んだが、1回戦で敗れた。



▲大学対抗や日本アマで活躍の桐谷

専大からユニバ代表に2選手 — 水泳部・岩崎優／バスケットボール部・横山悠衣

8月8日から18日までタイ・バンコクで行われるユニバーシアード競技大会に専大から水泳部の岩崎優（経営4・湘南工科大附属高）、バスケットボール部の横山悠衣（文3・市立柏高）の2選手が出場する。

岩崎は4月の日本選手権水泳競技大会で50メートル自由形準優勝、100メートル自由形優勝を果たし、日本代表の座をつかんだ。「ジュニアの国際大会への出場経験はあるが、ユニバーシアードへの出場は初めて」と話し、「自己ベストを更新したい」と目標を語った。

1年次からリーグ戦に出場し、今年5月の李相佰杯争奪日韓学生バスケットボール大会でも3ポイントシューターとして活躍した横山は「上級生としてチームメートがプレーしやすい環境を作り、その中で自分を生かしたい。自分の役割をしっかりと果たして上位に入り、帰ってきた時、専大にもプラスとなれるように頑張ります」と話した。